

パネルディスカッション

病院から在宅へ

～認知症の方々の地域での生活を支援するために～

「退院したら自宅へ帰り、入院前と同じ生活を送りたい」当たり前の願いでありながら、認知症の方やその家族の方にとって、入院は大きなハードルとなります。私達医療者は、このような方々をどのように支援することができるのでしょうか。今回は3名の先生をお招きし、在宅看護学、家族看護学、退院調整を行う臨床という立場から現状と課題をお話いただきます。そして後半は、参加者の皆様との自由な意見交換の場を設けております。実践を通しての思いを互いに語り合しましょう。

パネリスト：福島県立医科大学看護学部地域在宅看護学部門 教授 高瀬 佳苗先生

福島県立医科大学看護学部家族看護学部門 教授 畠山とも子先生

福島県立医科大学附属病院地域連携部 副看護師長 岩崎 美樹先生

■日時：平成26年11月16日（日） 13：30～16：00（開場13：00）

■場所：福島県農業総合センター 多目的ホール（郡山市日和田町高倉字下中道116番地）

■対象：認知症を抱える方々の支援に携わる保健・医療・福祉職員、

本テーマに関心を有する方々

■定員：150名（先着順）



お申し込み・お問い合わせ

★お申し込み方法★

9月30日（火）までに電話・Fax・E-Mailにて氏名・所属・住所・連絡先をお知らせください。裏面の参加申込書を利用下さい。

事務局

福島県立医科大学企画財務課企画担当：

〒960-1295 福島市光が丘1番地

Tel：024-547-1013 / Fax：024-547-1991

（平日8：30～17：15）

e-Mail：kikakug@fmu.ac.jp



主催：福島県立医科大学 看護学部

